

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

飯綱町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上水内郡飯綱町

3 地域再生計画の区域

長野県上水内郡飯綱町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1995 年の 13,292 人をピークに年々減少しており、2020 年の国勢調査では 10,296 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050 年には総人口が 5,586 人まで落ち込むものと予想されている。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口は 1985 年の 2,557 人をピークに減少し、2020 年には 1,019 人となる一方、老年人口は 1985 年の 1,926 人から 2020 年には 4,182 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口も 1995 年の 8,286 人をピークに減少しており、2020 年には 5,094 人となっている。

自然動態をみると、出生数は 2000 年の 111 人をピークに減少し、2024 年には 56 人となっている。その一方で、死亡数は 2024 年には 165 人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲109 人（自然減）となっている。2005 年から 2014 年の 10 年間の平均出生数は 64.7 人、平均死亡数は 157.2 人となっており、平均出生者数から平均死亡者数を差し引いた自然増減は▲92.5 人となっている。また、2015 年から 2024 年の 10 年間の平均出生数は 46.2 人、平均死亡数は 170.0 人となっており、平均出生者数から平均死亡者数を差し引いた自然増減は▲123.8 人となっている。

社会動態をみると、2000 年には転入数（506 人）が転出数（451 人）を上回る社会増（55 人）であったが、本町の基幹産業である農業の衰退に伴い、雇用の

機会が減少したことで、それ以降は転入数が転出数を上回るペースで下落し、転出超過の状態が現在まで続き、2024年には合併20年で始めて17人の社会増となったが、全体的には減少傾向となっており、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、各集落の維持機能の低下、就労機会の場の減少、町外への人の流出が加速する等、住民生活や地域経済の衰退を招くことが懸念される。

これらの課題に対応するため、子育て世代が安心して子供を産み育てやすい環境や子育て後の女性が就労しやすい場づくりを推進することで自然増につなげる。また、儲かる農業の推進、安定した雇用の創出や移住促進、地域を活性化させるまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本方針1 「自然・環境」美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築
- ・基本方針2 「学び」ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造
- ・基本方針3 「産業・観光」創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承
- ・基本方針4 「安全・基盤」人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現
- ・基本方針5 「安心・健康・福祉」共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり
- ・基本方針6 「移住・交流」移住定住と多様な交流による地域活性化

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	耕作放棄地率	9.4%	6.9%	基本方針1
	里山・森を守る満足度	30.5%	33.6%	
	ふるさとの景観を守る満足度	27.6%	30.4%	
	林業体験参加者数	22人	293人	
	自然体験プログラム数	13プログラム	100プログラム	
	民間保育施設を含む信州型 自然保育認定園数	4園	4園	
	森林整備・木材活用・自然体 験等提供を行う団体	0団体	1団体	
	町の事務・事業におけるCO 2排出量	4,391t	3,296t	
	1人1日当たり可燃ごみ排 出量	488g	353g	
	自然に親しむことができる 機会を増やす満足度	27.8%	30.6%	
	省資源・資源循環の推進満足 度	28.1%	31.0%	
	家庭ごみの分別の徹底や減 量化、リサイクルなどに取り 組んでいる割合	92.8%	97.1%	
イ	中学校の英検受験率	34.8%	50.0%	基本方針2
	ネットワーク環境整備学校 数	3校	3校	
	平成27年度からの奨学資金	21人	33人	

	の貸付人数（累計）			
		米	米	
		100%	100%	
	学校給食における地元農産物の使用率	じゃがいも	じゃがいも	
		15.1%	35.0%	
		玉ねぎ	玉ねぎ	
		21.6%	40.9%	
	町ならではの教育環境づくり満足度	36.7%	40.4%	
	誰もが安心して教育を受けられる環境の整備満足度	35.0%	38.5%	
	スポーツ団体参加者数	932人	1,100人	
	スポーツ少年団リーダーの養成者数（累計）	69人	71人	
	地域密着型プロスポーツ応援観戦者数	0人	180人	
	歴史ふれあい館の入館者数	2,422人	3,209人	
	アップルミュージアム入館者数	8,399人	17,274人	
	文化財等を活用したイベント開催数	3回	5回	
	多様な活動機会の創出満足度	34.5%	38.0%	
	文化の保存・継承満足度	30.9%	34.0%	
	地域の行事や集まりに積極的に参加している（地域の会合、お祭りなど）割合	59.7%	65.7%	
	学習支援活動（いいづな大学、いいづな教室、まちづくり	0回	40回	

	講座等) の開催数			
	子ども向けプログラム開催数	5 回	17回	
	生きがいつくりにつながるプログラム開催数	15回	20回	
	公民館図書室と中学校図書館の蔵書数	56,993冊	61,316冊	
	公民館図書室と中学校図書館の図書貸出数	19,959冊	21,000冊	
	多様な学習機会の創出満足度	32.2%	35.4%	
	生涯学習拠点の充実満足度	33.3%	36.6%	
	楽しみながら何かを学ぶ取組をしている（グループ活動、趣味の会等）割合	33.4%	36.7%	
ウ	平成29年度からの新規就農者数（累計）	9 人	20人	基本方針 3
	認定農業者数	108人	120人	
	担い手への農地利用集積延面積	287ha	350ha	
	農業所得額	1.0億円	2.0億円	
	農業収入額	22.8億円	27.5億円	
	農業経営基盤の維持・強化満足度	16.9%	18.6%	
	世界に誇る生産・販売体制づくり満足度	28.3%	31.1%	
	農産物のブランド化と販路開拓満足度	22.2%	24.4%	
	地元の食材を積極的に食し	76.1%	83.7%	

	ている（家庭菜園、町内直売所利用含む）割合			
	平成26年度からの空き店舗への出店件数（累計）	4 件	10件	
	創業支援資金利用件数	4 件	5 件	
	企業誘致件数（累計）	4 件	6 件	
	特定地域づくり事業協同組合員数	0 者	4 者	
	創業比率	1.53%	1.80%	
	仕事に関するプログラムの開催数	10回	20回	
	コワーキングスペース利用者数	1,100人	2,000人	
	事業チャレンジ提案数（累計）	27件	60件	
	にぎわいのあるまちづくり満足度	13.9%	15.3%	
	雇用・就業の環境づくり満足度	16.6%	18.3%	
	町内の店舗を積極的に利用している（スーパー、飲食店、コンビニ等）割合	73.5%	80.9%	
	公園整備数	0 か所	4 か所	
	観光客数	15万人	50万人	
	外国人宿泊者数	0 人	226人	
	町観光サポーターの登録者数	7 人	30人	
	飯綱町ファン倶楽部会員数（累計）	420人	500人	

	インバウンド周遊プランの作成	1プラン	3プラン	
	iバスコネット利用者数	89人	677人	
	誰もが憧れる観光地づくり満足度	15.7%	17.3%	
	国内外からの誘客の促進満足度	12.4%	13.6%	
	観光客をおもてなししたい気持ちがある割合	45.9%	50.5%	
エ	道路改良率	49.8%	50.7%	基本方針4
	道路愛護活動実施地区	31地区	35地区	
	水道有収率	69.4%	80.0%	
	下水道水洗化率	91.5%	93.0%	
	暮らしと交流を支える道路整備満足度	33.7%	37.1%	
	生活環境の向上を図る上下水道整備満足度	51.3%	56.4%	
	安全・安心な居住環境整備満足度	21.4%	23.5%	
	ごみ拾い、草刈り、雪かきなど地域のボランティア活動に積極的に参加している割合	47.9%	52.7%	
	自主防災組織の組織化率	96.1%	100.0%	
	災害時支え合いマップを作成した地区数	50地区	50地区	
	相互応援協定の締結件数	36件	58件	
	火災発生件数	3件	0件	
	シートベルト着用率（運転席	99.5%	100.0%	

・助手席)		
災害に強いまちづくり満足度	40.2%	44.2%
安全に暮らせる社会づくり満足度	32.5%	35.8%
防災や防犯に対して、日頃から意識して備えている割合	67.0%	73.7%
町の職員数（病院関係除く）	136人	130人
職員提案制度による業務改善数	0件	3件
出前講座の実施回数	29回	100回
経常収支比率	84.6%	80.0%以下
町税の収納率（固定資産税・住民税・法人税・軽自動車税）	99.1%	99.6%
マイナンバーカード交付率（累計）	17.5%	100.0%
信頼される行政運営満足度	25.4%	27.9%
持続可能な財政運営満足度	21.8%	24.0%
質の高い行政サービスの提供満足度	24.5%	27.0%
税金の使い方に対して関心を持っている割合	62.5%	68.8%
専用基地局、中継局の設置（累計）	0か所	40か所
デジタルデバイス機器導入数（累計）	0基	100基
電子申請手続き導入数	9手続	129手続

オ	ファミリー・サポート・センターの会員数	39人	50人	基本方針 5
	なかよし広場利用者数	70人	90人	
	放課後児童クラブ利用者ニーズ調査（開館状況満足度）	95.3%	97.9%	
	病後児保育施設利用者数	1人	5人	
	女性就業率	58.3%	65.0%	
	支援を受けた者で就労（起業）できた者の数（累計）	10人	100人	
	飯綱町ワークセンター新規登録者数（累計）	50人	140人	
	子どもがいきいきと育つ環境づくり満足度	33.2%	36.5%	
	楽しく子どもを育てられる環境づくり満足度	26.3%	28.9%	
	女性の希望が叶う子育て環境づくり満足度	22.0%	24.2%	
	地域の子どもの成長に関心を持っている（子ども見守り、学校ボランティア等）割合	54.6%	60.1%	
	IIZUNAであるきバスカード登録率	16.1%	25.0%	
	65歳以上就業率	47.2%	50.0%	
	いきいきサロン参加者数	2,500人	7,000人	
	地区福祉学習会開催地区数・開催地区割合	10地区 20%	50地区 100%	
	ふれあい広場参加者数	0人	2,000人	
	地域福祉フォーラム参加者数	100人	200人	

高齢者が安心していきいきと暮らすことができる取組満足度	26.8%	29.5%
障がい者が自分らしく生活を送ることができる取組満足度	20.8%	22.9%
地域で支え合う福祉の体制づくり満足度	20.8%	22.9%
周辺住民とは日頃から積極的にコミュニケーションをとっている割合	62.4%	68.6%
飯綱町総合健診受診者数	342人	370人
特定健診受診率	31.2%	55.0%
ゲートキーパー養成講座の受講者数	71人	320人
フレイルチェックの実施数	0人	300人
健康寿命	男：80.2歳 女：84.0歳	男：81.4歳 女：84.9歳
医師の充足率	75.0%	104.7%
みんながいきいきできる健康づくり満足度	36.9%	40.6%
地域に愛される病院づくり満足度	32.1%	35.3%
食事、運動、睡眠など意識して健康づくりに取り組んでいる割合	73.7%	81.1%
1日あたりのiバスの平均利用者数	89人	210人
1日当たりの牟礼駅の平均	992人	1,450人

	乗降者数			
	身近で親しまれる公共交通の仕組みづくり満足度	26.0%	28.6%	
	利用しやすい交通環境の構築の取組満足度	34.6%	38.1%	
	積極的に公共交通（鉄道やバス）を利用している割合	15.2%	16.7%	
	牟礼駅前が整備され、利便性が向上していると思う割合	44.1%	48.5%	
カ	社会増減数	▲69人	±0人	基本方針6
	転入者数	221人	310人	
	空き家バンク登録物件成約数（累計）	6件	50件	
	町営住宅等整備数	65戸	73戸	
	ワーケーション等のイベント実施回数	3回	3回	
	住み良いまちと感じる人の割合	66.6%	80.0%	
	移住を増やす取組満足度	18.1%	30.0%	
	農業体験等参加者数	1,067人	2,500人	
	友好都市提携数	0都市	1都市	
	町民団体が主催する国際交流推進事業数	2事業	3事業	
	国際交流事業推進団体数	1団体	2団体	
	飯綱ファンを増やす取組満足度	22.0%	24.2%	
	世界で活躍する人材の育成満足度	10.9%	12.0%	
	世界の人々を積極的に受け	9.2%	10.1%	

入れる満足度		
結婚相談所の利用による婚姻数（累計）	3組	20組
（仮称）いいづな若者会議における提案事業実施数	0件	3件
集落の将来プラン（将来の姿）を作成した集落数	15集落	50集落
町民講座の開催数	1回	2回
ボランティア活動登録者数	150人	250人
一斉清掃への参加地区数・団体数	50地区 0団体	50地区 25団体
審議会・委員会等への女性委員の登用率	21.8%	30.0%
男女共同参画住民意識調査「男女平等となっている」の回答率	42.1%	50.0%
共働によるまちづくりの推進満足度	22.5%	24.8%
誰もが尊重される環境づくり満足度	22.4%	24.6%
男女が共にいきいきと暮らせる環境づくり満足度	19.1%	21.0%
町ホームページアクセス件数	212,126件	264,632件
Facebookフォロワー数	729件	1,500件
SNS等の広報媒体数	3種類	5種類
プレスリリース情報発信件数	50件	60件
町の魅力や情報の積極的な	22.6%	24.9%

	発信満足度			
	戦略的なブランド発信満足度	30.6%	33.7%	
	町の魅力（自然、特産品など）を積極的にPRしている割合	38.9%	42.8%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

飯綱町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 「自然・環境」美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築事業

イ 「学び」ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造事業

ウ 「産業・観光」創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承事業

エ 「安全・基盤」人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現事業

オ 「安心・健康・福祉」共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり事業

カ 「移住・交流」移住定住と多様な交流による地域活性化事業

② 事業の内容

ア 「自然・環境」美しい風景を育て、豊かな自然と共生する持続可能な社会の構築事業

- ・快適な暮らしや産業の発展との調和を図りながら、良好な自然環境と大切なふるさとの景観を次代に継承する事業
- ・豊かな自然環境の価値・機能や資源の魅力を最大限に活かしながら、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・豊かな自然環境の保全・継承
- ・ふるさとの景観の保全・育成
- ・自然と親しめる場や機会の創出
- ・脱炭素、省資源、省エネルギー、資源循環の推進 等

イ 「学び」ふるさと環境を活かした人材育成と一人ひとりの豊かな人生の創造事業

- ・多様化・グローバル化が進む社会のなかで、ふるさとに誇りをもって豊かな人生を歩める力を育む教育環境をつくる事業
- ・スポーツや文化芸術の価値を共有して、より多くの町民がこれらの活動に親しみ、関われる環境や体制づくりを推進する事業
- ・生涯にわたって学べる場や機会を確保し、学びを通じて、地域コミュニティの継承や一人ひとりの豊かな人生の創造につなげる事業

【具体的な事業】

- ・飯綱町ならではの教育環境の構築
- ・誰もが安心して教育を受けられる環境の整備
- ・誰もがスポーツに親しめる環境整備
- ・伝統文化の保存・継承
- ・創造的な文化芸術活動の支援
- ・多様な学習機会の創出・地域社会との連携
- ・生涯学習の環境づくり 等

ウ 「産業・観光」創意工夫による新たな産業・しごとの創出と地域に根差した産業基盤の継承事業

- ・農業経営基盤の強化と多様な担い手の確保・育成を図るとともに、農業の価値と魅力を高めることにより、持続可能で競争力のある農業を推進する事業

- ・複数の事業の組み合わせや協業等により、安定した雇用の創出、既存事業の維持・承継、更には再生・拡大を図る取組を推進するとともに、地域の資源や特色を活かした創業・起業、企業の進出を積極的に支援し、地域活性化とにぎわいのあるまちづくりを推進する事業
- ・地域の暮らしや産業とともにある美しい自然や景観、歴史・文化、食等の町の魅力の醸成を図り、それを来訪者に満喫してもらう観光まちづくりを推進する事業

【具体的な事業】

- ・農業経営基盤の強化・持続可能な経営支援
- ・世界に誇る生産・販売体制の構築
- ・農産物のブランド化と販路開拓
- ・歩きたくなるまちづくりの推進
- ・雇用・就業の環境づくり、創業・起業支援
- ・稼げる地域・多様な仕事のある地域の実現
- ・誰もが憧れる地域づくりの推進
- ・国内外からの誘客の促進
- ・二次交通の利便性向上 等

エ 「安全・基盤」人口減少や自然災害、生活環境の多様なリスクに対応した安全な暮らしの実現事業

- ・既存のインフラの老朽化や生活を支えるインフラを維持しつつ、将来の人口動態を踏まえた計画的な整備・維持管理を進め、快適で安心・安全な生活基盤を継承する事業
- ・自然災害や詐欺被害等、生活を取り巻く様々なリスクがあるなか、人口減少や高齢化で弱まる地域コミュニティや自助・共助の力を高める、防災力や防犯力の維持・向上を図る事業
- ・人口減少・少子高齢化の進展により、今後より一層の厳しい行財政運営が余儀なくされることから、更なる効率化と透明性の向上を図り、また、税収による財源確保のため課税物件の的確な把握及び収納率の維持・向上を図るとともに、多様な収納方法を検討して、納税者の利便性の向上を図る事業

- ・人口減少時代に対応する持続可能な地域を形成するために、デジタル技術を活用してより効率的で生産性を高める取組が必要であることから、デジタル化のノウハウを有する民間の活力を活用し、地域全体で産官民が連携してデジタル化の取組を積極的に推進する事業

【具体的な事業】

- ・安全で快適に通行できる道路整備・維持管理
- ・生活の基盤となる上下水道等の整備・維持管理
- ・安全・安心で快適な居住環境の整備・継承
- ・自然災害への対応力の強化
- ・安全に暮らせる社会づくりの推進
- ・信頼される行政運営の推進
- ・持続可能な財政運営の推進
- ・質の高い行政サービスの推進
- ・地域のデジタル化により活力あるまちづくりの推進
- ・行政のデジタル化による住民サービスの向上 等

オ 「安心・健康・福祉」共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり事業

- ・ハード・ソフトの両面から、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して子育てができる環境をつくる事業
- ・町民一人ひとりが自ら考え行動し、地域ぐるみで支え合う自助・互助・共助・公助の確立を図る取組を推進する事業
- ・全ての町民が健康長寿で豊かな人生を送ることができる活力ある町を目指し、関係機関と連携した健康づくり活動の推進と適切な支援を行う事業
- ・多様な公共交通機関の有機的な連携を図り、町民の日常生活を支える、効率的で持続可能な交通体系を構築する事業

【具体的な事業】

- ・子どもがいきいきと育つ環境づくりの推進
- ・楽しく子どもを育てられる環境づくりの推進
- ・女性の希望が叶う子育て環境づくりの推進

- ・高齢者が安心していきいきと暮らすことができる社会の実現
- ・障がい者が自分らしく生活を送ることができる社会の実現
- ・地域で支え合う福祉の体制づくりの推進
- ・健康の保持・増進の支援
- ・飯綱病院の医療体制の充実
- ・新型コロナウイルス等感染症の予防と対策
- ・身近で親しまれる公共交通の構築
- ・利用しやすい交通環境の構築 等

カ 「移住・交流」移住定住と多様な交流による地域活性化事業

- ・二地域居住やワーケーション等多様な暮らし方・働き方を受け入れて、関係人口や交流人口を増やしながら、移住・定住につなげる事業
- ・農業や農村体験等による都市住民の滞在型交流を通じて、飯綱町ファンを増やすとともに、インバウンド（訪日外国人旅行者）の受入れや国際交流を拡充して、多文化共生のまちづくりを推進する事業
- ・地域内外の交流や世代間の交流を深め、みんなで地域の未来を語り合える機会を確保し、地域づくりの実践的な取組を推進する事業
- ・より多くの人々が飯綱町を知って、訪れ、将来的には住んでもらえるよう、町の魅力を地域内外に広く発信する事業

【具体的な事業】

- ・試住・移住・定住の支援
- ・町営住宅等の整備
- ・関係人口の創出・拡大
- ・都市間交流の推進
- ・世界で活躍できる人材の育成
- ・国際交流の推進
- ・多彩な交流の場の確保・創出
- ・共働によるまちづくりの推進
- ・誰もが尊重される環境づくりの推進
- ・積極的な情報発信の推進
- ・戦略的なブランド発信の推進 等

※ なお、詳細は第2次飯綱町総合計画（後期基本計画）のとおり。

- ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））
4の【数値目標】に同じ。

- ④ 寄附の金額の目安
278,600千円（2022年度～2026年度累計）

- ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）
毎年度「総合計画審議会」の委員等の外部有識者により構成される検証組織による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

- ⑥ 事業実施期間
地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで